



2023 年度  
第 10 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

## 1 記者会見

金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件の真相究明と責任者処罰、再発防止を促す



## 2 共同声明

金浦 FC は選手死亡事件の真相究明と責任者処罰再発防止対策を講じろ



## 3 極端な選択

金浦 FC ユース選手…  
真相究明を急がなければならない



## 4 青少年選手の自殺 金浦 FC 監督と コーチ陣の 職務排除



## 5 週間スポーツニュース

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



## 01 金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件の真相究明と 責任者処罰、再発防止を促すための記者会見



- 日時: 2023 年 3 月 14 日 (火) 午前 10 時
- 場所: 金浦市役所前
- 記者会見の趣旨
  - 2022 年 4 月 27 日未明、金浦 FC ユースサッカー選手が遺書を残して自殺
  - スポーツ倫理センターは 8 ヶ月間の調査の後、スポーツ公正委員会規定第 25 条第 1 項により「懲戒要求」を議決。
  - 金浦 FC の金ビヨンス理事長 (金浦市長) と徐ヨンギル代表は真相究明や対策作りなしに加害指導者らと再契約するなど、2 次、3 次加害を続けた。
  - これに対し以下の市民社会団体は死亡事件の真相究明と責任者の処罰、再発防止を促すために共同で対応することにし記者会見を行うことになった。
- 記者会見次第
  - 10:00 記者会見開始 (司会: チョン・ヨン Chol 文化連帯執行委員、西江大学教授)
    - 記者会見の趣旨と経過報告: 司会者
    - 発言 1: イ・ドンヨン (文化連帯共同代表、韓国芸術総合学校教授)
    - 発言 2: イ・デテク (スポーツ人権研究所代表、国民大教授)
    - 発言 3: キム・デフン (金浦市民の力代表)
    - 発言 4: ヨム・ギュヒョン (元選手家族)
    - 声明書発表: ホ・ジョンフン (体育市民連帯共同代表、中央大学教授)
    - 質疑応答及び今後の計画
  - 10:30 金浦 FC 理事長との面談及び抗議書簡の伝達

金浦市民の力、文化連帯、スポーツ人権研究所、体育市民連帯

2023. 3. 14(火) 10 時

## 金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件真相究明と

責任者処罰、再発防止サッカーのための記者会見及び抗議書簡伝達



## 02 [共同声明]

### 金浦 FC はユースサッカー選手死亡事件の真相究明と責任者処罰 再発防止対策を講じるべきだ。

### ソ・ヨンギル代表は遺族に謝罪し、直ちに辞任せよ。



昨年4月27日、金浦 FC の幼少年サッカー選手が指導者などの反復的な暴力と言語暴力、いじめによって遺書を残して残念な極端な選択をした。スポーツ倫理センターは事件発生から8ヵ月が経ってから、関連加害者に懲戒要求を議決した。

球団は今回の事件で加害者として名指しされた幼少年チームの指導者全員と再契約を完了した。金浦 FC はまるで何事もなかったかのように加害指導者が選手たちを依然として教えている状況を傍観している。国民の目線に合わないこのようなとんでもない現実を、我々はどう理解すべきか。金浦 FC のソ・ヨンギル代表は事件発生直後、指導者と選手分離措置および加害者処罰など責任ある措置を取らなかった。「本人の裁量で懲戒を下すには法的根拠など不足がある」と話し、あたかも他人のことであるかのように、本人が出る理由が全くないように責任を回避している。甚だしくはスポーツ倫理センターの遅い懲戒要求決定さえ履行していないのは明白な職務遺棄だ。徐ヨンギル代表は、故人と遺族に対して丁重に謝罪し、直ちに責任を持って辞任しなければならない。

金浦 FC の李相長である金ビヨンス金浦市長も、この事件から決して自由ではない。金浦 FC 球団の最高責任者として若い選手が死亡し、これを処理する過程で、無責任な球団の指導者と管理者の行動に対して公式に謝罪し、再発防止対策を講じなければならない。市民に愛されるスポーツ球団であり、公益法人の地位に反することが発生しないよう、責任ある措置を早急に実践しなければならない。その第一歩は加害指導者を職務停止し、学生選手たちと分離した後、必ず全数調査を実施しなければならない。これはずさんな調査と長期間黙認と回避、傍観で一貫した球団の行動によって、また別の被害者が出る可能性があるためだ。事件の原因や問題点などを含め、その真相を徹底的に調査した上で再発防止対策を講じて公式発表しなければならない。

私たちはまだ「あの人たちの罪を明らかにしてくれ…」と言っていたトライアスロン選手の死亡事件をはっきり覚えている。スポーツ界に構造的な暴力と苛酷行為が日常化し数十年間持続的に公論化されてきたが、慢性的な悪習が続いていることを示した悲劇的な事件だった。市民は衝撃に陥り、加害指導者と関係者は拘束され重刑を受け、資格が停止され永久除名された。

国会をはじめ政界とマスコミ、大韓体育会などをはじめとする体育界は誰もが自省の声を吐き出し、市民社会も真相究明と法、制度改善を要求して声を高めた。

しかし、再び今日、私たちはサッカーが好きだったユースサッカー選手の惨憺たる死の前に悲痛さを隠すことはできない。再び「その人たちの罪を明らかにしてくれ」という声が聞こえてくるようだ。

今日、3月14日は亡くなったユースサッカー選手の誕生日だ。1年近く経った今も金浦 FC 球団は依然として沈黙で事件を傍観し回避し、道義的責任も捨てた言動で遺族に向けた2次、3次加害を行っている。私たちは愛する家族と友人、あれほど好きだったサッカーを手放した若い選手の死に直面し、第2の、第3のトライアスロン選手の死亡事件が続いていると嚴重に判断する。

私たちは若い選手たちが暴力といじめのない環境で健康で安全に運動し、勉強できることを願う。スポーツ指導現場で若い学生選手たちの保護者になり、人権守護者になるべき指導者が加害者になり、管理監督の責任がある代表者が傍観者であり第2の加害者になる金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件の現実の前で、二度とこのようなことがあってはならないという深い省察と怒りを隠せない。

我々は金浦 FC ユースサッカー選手死亡事件に直面し、次のように要求する。

- 一、金浦 FC は加害指導者を職務停止し、生徒たちと分離した後、全数真相調査を実施せよ。
- 一、金浦 FC の徐ヨンギル代表は、「2 回目の加害を中止し、遺族に丁重に謝罪し、直ちに辞任せよ。
- 一、金浦 FC の金ビヨンス理事長は、「責任を痛感し、再発防止対策を発表せよ。
- 一、大韓サッカー協会は責任者を懲戒し、幼少年サッカー選手の人権保護と人権侵害予防対策を講じろ。
- 一、文体部と大韓体育会は幼少年選手たちが安全で健康に運動できるよう管理監督を強化せよ。

2023. 3. 14.

金浦市民の力、文化連帯、スポーツ人権研究所、体育市民連帯

### 03 聯合ニュース 2023.03.14

#### 極端な選択、金浦 FC ユース選手…「真相究明を急がなければならない」



プロサッカー金浦 FC ユースチームの選手が昨年 4 月、極端な選択をした事件と関連し、市民団体が真相究明と責任者処罰を促した。

文化連帯など 4 つの市民団体は 14 日、金浦市役所前で記者会見を開き、該当事件に対する迅速な真相調査と加害者として名指しされたサッカーチーム指導者に対する職務停止を要求した。

これら市民団体は「事件発生から 11 ヶ月が過ぎたが、球団側が責任ある措置を取らず、むしろ加害者と名指しされた指導者たちと再契約をした」と主張した。

それと共に「スポーツ倫理センターが 3 ヶ月前に加害指導者の懲戒要求を議決したにもかかわらず懲戒がなされていない」とし、「金浦 FC は全数調査を行い再発防止対策を用意しなければならない」と付け加えた。

市民団体は大韓サッカー協会に対しても責任者を懲戒し、幼少年選手の人権侵害予防策を講じるよう促した。

これら市民団体は記者会見を終えた後、金浦 FC 理事長の金ビヨンス金浦市長と面談しようとしたが、不在のため市関係者に抗議書簡を渡した。

これに先立って金浦 FC 幼少年チーム所属選手である 10 代 A 君は昨年 4 月 27 日午前 2 時頃、金浦市馬山洞の寮の建物から飛び降りる極端な選択をした。

死亡した A 君が SNS に残した A4 用紙 5 枚分量の遺書には、チーム指導者たちの言語暴力と同僚たちのいじめがあったという主張が盛り込まれたという。

事件発生以後、懲戒をはじめとする球団の措置がなされなかったため、A 君の両親は 6 日金浦 FC 高等チームと中等チームを相手に営業停止仮処分申請を仁川地方裁判所富川支院に提出した。

A君の父親は「スポーツ倫理センターが関連指導者に対する懲戒要求を議決したにもかかわらず、金浦FC側は職務停止もせず指導者契約を延長し遺族に精神的被害を与えている」と主張した。

これに対して金浦FC関係者は「該当指導者に対して人事措置をするには明確な行政的根拠が必要だが、まだ球団に公式的に公文書が届いていない」とし「公文書を受け取り次第、その内容により人事委員会を開き適当な懲戒を下す予定」と話した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230314069200065?input=1195m>

## 04 MBC ニュース 2023.03.14

### 青少年選手の極端な選択、金浦FC、監督とコーチ陣の職務排除



昨年、ユースチーム所属の選手が極端な選択をした金浦FCが、事件から約11カ月ぶりに担当監督とコーチ陣を職務から排除しました。金浦FCのソ・ヨンギル代表理事は「正常な業務遂行が不可能だという判断により昨日代表職権で彼らに対して職務排除決定を下した」と明らかにしました。

これと関連して文化連帯など4つの市民団体は今日、金浦市庁前で記者会見を開き、この事件に対する迅速な真相調査と責任者処罰を促しました。

金浦FCユースチーム所属の選手だった10代のチョン君は昨年4月、オンラインメッセージに監督やコーチ陣などの言語暴力を訴える書き込みを残したまま、4階の寮の建物から落ちて死亡しました。

出典：[https://imnews.imbc.com/news/2023/society/article/6464015\\_36126.html](https://imnews.imbc.com/news/2023/society/article/6464015_36126.html)

## 05 週間スポーツニュース

国民体育振興公団、国家代表競技力向上事業遂行機関募集

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202303140100110820013397&servicedate=20230314>

安東市、全国体育大会を相次いで開催

[https://newsis.com/view/?id=NISX20230315\\_0002227009&cID=10810&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20230315_0002227009&cID=10810&pID=10800)

文化体育観光部、指定スポーツクラブによる生活・専門体育支援

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230315078900007?input=1195m>

2036 ソウル五輪誘致、施設投資費削減…大学の体育施設活用

<https://www.news1.kr/articles/4982167>

原州市、体育施設30カ所余りの機能改善…歴代最大の計110億ウォン投入

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230313023200062?input=1195m>

龍仁市・朴セリが「体育文化発展のための業務協約」を締結

<https://www.mbn.co.kr/news/society/4911605>

「2023 全国ユース生活体育バスケットボール大会」堤川で開幕…「許載・全泰豊サイン会」

<http://www.joongdo.co.kr/web/view.php?key=20230315010004217>

尚州市体育会長、今回は「裏取引疑惑」暴露…本人は事実無根一蹴

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2023031417040172731>

原州市の次世代生活・専門体育人の育成に拍車

<http://www.kwnews.co.kr/page/view/2023031410042249908>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>